

食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして

# 平成23年3月期 決算説明会資料

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

平成23年5月24日



# 平成23年3月期決算の概要

# 連結損益計算書（前期との比較）

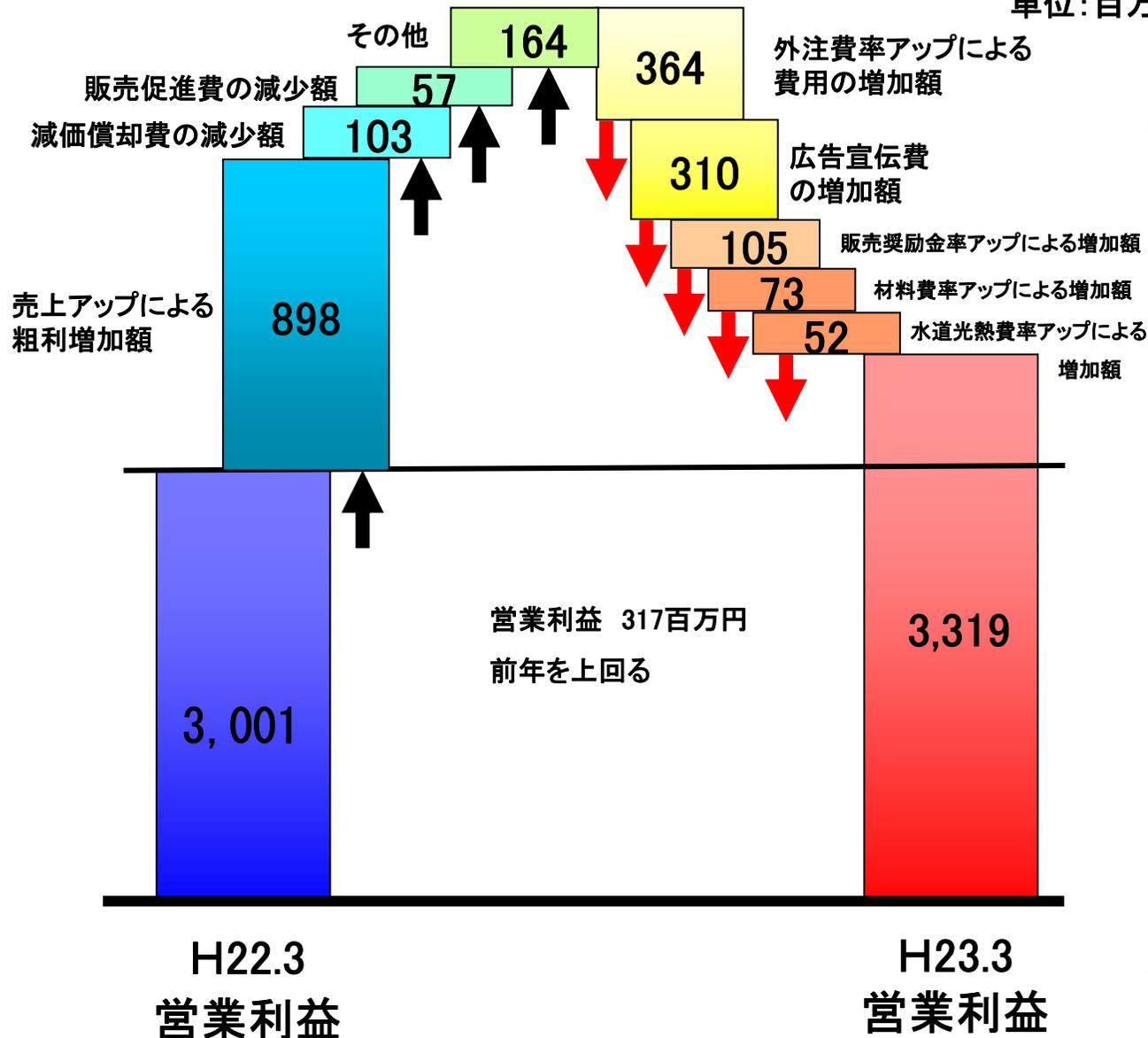


	H22.3月期		H23.3月期		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	50,432	100.0	52,794	100.0	2,361
売上原価	31,233	61.9	32,643	61.8	1,409
売上総利益	19,199	38.1	20,150	38.2	951
販売管理費	16,197	32.1	16,831	31.9	633
営業利益	3,001	6.0	3,319	6.3	317
営業外損益	259	0.5	260	0.5	1
経常利益	3,260	6.5	3,579	6.8	319
特別損益	△160	△0.3	△453	△0.9	△292
税引前利益	3,100	6.1	3,126	5.9	26
当期純利益	1,768	3.5	1,802	3.4	34
1株当り利益	54円97銭		56円29銭		1円32銭

# 営業利益の増減要因分析（前年比）



単位：百万円



売上アップによる粗利の増加が、外注費率や広告宣伝費の増加による費用の増加を吸収し、営業利益は前年を上回った

## 【売上原価】

売上高構成比は  
61.9%→61.8%と0.1P減少

- 外注費率はアップ(派遣から請負への契約変更による)したが、労務費、経費等の固定費率の減少により原価率が低下

## 【粗利】

売上増加に伴い、粗利が増加

## 【販売費及び一般管理費】

売上高構成比は  
32.1%→31.9%と0.2P減少

- 販売奨励金は増加したが、広告宣伝費を除く固定比率が減少

# 連結製品分類別売上高



単位:百万円

	H22.3 実績	H23.3 実績	前期差	H23.3 計画	計画差
昆布製品	16,937	17,441	504	17,682	△240
豆製品	13,482	13,980	497	13,495	484
そう菜製品	9,224	10,647	1,423	9,886	760
デザート製品	5,009	5,407	397	5,293	113
その他製品	5,778	5,317	△461	4,840	476
合計	50,432	52,794	2,361	51,200	1,594

## 【セグメント情報】

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場の類似性から判断して同様・同系列の加工食品を専ら製造販売しており、区分すべき事業セグメントの重要性が乏しいため、報告セグメントは単一となっています。

(注)当連結会計年度より、製品分類を変更しております。変更内容は、従来の「漬物製品」を「その他製品」へ含めており、また、「その他製品」の中のヨーグルト関連品を「デザート製品」としております。なお、前連結会計年度の実績は、変更後の区分に替えて表示を行っております。

# 連結貸借対照表（前期末比）



	H22.3.31		H23.3.31		増減額
	百万円	%	百万円	%	
流動資産	25,593	41.6	28,101	45.4	2,508
現金・預金	11,427	18.6	13,208	21.3	1,781
受手・売掛金	7,469	12.1	7,847	12.7	377
たな卸資産	6,076	9.9	6,330	10.2	253
固定資産	35,898	58.4	33,823	54.6	△2,074
資産合計	61,491	100.0	61,924	100.0	433
流動負債	8,820	14.3	8,661	14.0	△158
固定負債	2,091	3.4	1,911	3.1	△179
負債合計	10,911	17.7	10,573	17.1	△338
純資産合計	50,579	82.3	51,351	82.9	771
負債・純資産合計	61,491	100.0	61,924	100.0	433

\* 固定資産の減少は、主に有形固定資産（建物、機械装置）、無形固定資産（ソフトウェア）の償却が進んだため

\* 流動負債の減少は、買掛金の減少や借入金の返済等による

\* 固定負債の減少は、主に長期借入金の返済が進んだため

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(百万円)	H22.3月期	H23.3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,618	3,640	△978
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634	△1,669	△1,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,946	△1,189	1,756
現金及び現金同等物の増減額	1,038	781	△256
現金及び現金同等物の期末残高	11,127	11,908	781

## キャッシュ・フローの増減要因

- 営業CF...前期と比べ、税金等調整前当期純利益は増加したが、仕入債務・未払消費税等・法人税等の支払いによるキャッシュの流出があり、収入は978百万円減少した
- 投資CF...前期と比べ、主に定期預金の預入による支出が増加し、支出が1,035百万円増加した
- 財務CF...前期と比べ、主に借入金の返済が減少したことから、支出が1,756百万円減少した

# 連結設備投資の状況



(百万円)	H19/3	H20/3	H21/3	H22/3	H23/3	H24/3 計画
設備投資額	5,401	2,534	3,515	1,372	1,580	1,238
減価償却費	1,961	2,362	2,353	2,442	2,328	2,280

H24/3期 計画案件	投資金額
生産関係	820百万円
施設関係(管理・営業本部)	106百万円
開発関係	40百万円
システム関係	59百万円
関係会社の設備投資	214百万円

# 連結研究開発費の状況



(百万円)	H19/3	H20/3	H21/3	H22/3	H23/3	H24/3 計画
研究開発費	597	553	531	533	486	533
研究開発費率 %	1.24	1.10	1.07	1.06	0.92	1.00

(対連結売上高研究開発費率)

## 平成24年3月期 研究開発の方針

- ①昆布のフコキサンチンの研究  
(抗酸化・抗肥満作用の研究)
- ②カスピ海ヨーグルトの粘り成分EPSの研究  
(血糖値を上げにくくする、風邪の免疫効果の研究)
- ③イソフラボン高蓄積黒大豆新品種の遺伝子の研究  
「フジクロM110」(丹波黒の2~3倍のイソフラボン)

# 平成24年3月期の見通し

# 連結業績予想



	H23/3期実績		H24/3期計画		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	52,794	100.0	53,500	100.0	706
売上原価	32,643	61.8	33,050	61.8	407
売上総利益	20,150	38.2	20,450	38.2	300
販売管理費	16,831	31.9	17,100	32.0	269
営業利益	3,319	6.3	3,350	6.3	31
営業外損益	260	0.5	250	0.5	△10
経常利益	3,579	6.8	3,600	6.7	21
特別損益	△453	△0.9	-	-	453
税引前利益	3,126	5.9	3,600	6.7	474
当期純利益	1,768	3.5	2,000	3.7	232
1株当り利益	56円29銭		62円45銭		6円16銭

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営企画室 藤澤まで

TEL 078-303-5921

FAX 078-303-5949